

**国道153号 飯田南道路
（飯田市山本地区・伊賀良地区）
第1回アンケート結果（詳細版）**

国土交通省 中部地方整備局

平成30年12月18日

1. 第1回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要①

■意見聴取に際し、補足説明資料を作成し、アンケート票に同封した。

アンケートの答え方

本アンケート調査は、国道153号(飯田市山本～飯田市伊賀良)の計画にあたり、皆さまの生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆様のご意見をお聴かせ頂くために実施するものです。

本アンケート調査は全2回を予定しており、1回目となる本調査では、国道153号(飯田市山本～飯田市伊賀良)について、地域の皆さまが日々感じられている道路交通面での課題や、地域に求められる道路の役割等について、ご意見を伺うものです。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本調査は、飯田市、阿智村、泰阜村、下條村、平谷村、根羽村、阿南町、売木村、天龍村、喬木村、松川町、豊丘村、大鹿村、高森町の全世帯を対象にアンケート用紙を交付し、ご回答をお願いしております。ご返送いただいたハガキは、国土交通省飯田国道事務所で集計を行います。

手順①: アンケートの対象地を確認して下さい。

【対象地】国道153号(飯田市山本～飯田市伊賀良)

【アンケート配布地域】

飯田市、阿智村、泰阜村、下條村、平谷村、根羽村、阿南町、売木村、天龍村、喬木村、松川町、豊丘村、大鹿村、高森町の全世帯



手順②: P.2～3を見ながら、回答用紙(ハガキ)にご記入下さい。

P.2・3 (本紙)



回答用紙(ハガキ)



手順③: 回答用紙(ハガキ)を投函して下さい。

回答用紙(ハガキ)

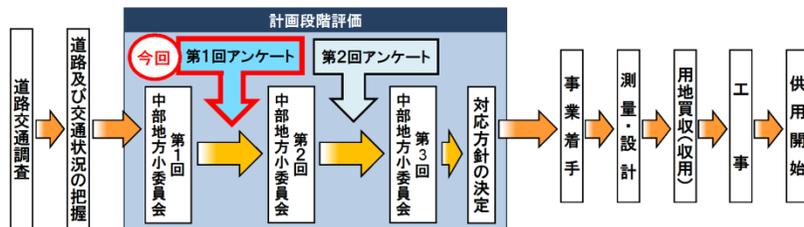


地域の意見聴取の回答方法、実施期間

- 回答用の郵便はがきは、お近くのポストへ **平成30年4月8日(日)** までに投かんをお願いします。
- ※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

道路事業の流れ(計画段階評価の流れ)

- 計画段階評価では、地域の皆様のご意見をお伺いしながら、地域の状況と課題、道路に求められる機能等を整理し、今後整備を進める道路について、概ねのルートや構造を評価していきます。
- 今回行う第1回アンケートでは、皆様が目覚めている地域の課題や道路に求められる機能をお聞きします。
- 本アンケート結果を基に、後は道路整備の方針(政策目標、対応方針)を検討して参ります。



道路計画に関するご意見をお聞かせください



国道153号
飯田市山本～飯田市伊賀良

の計画に関する
第1回アンケート



このアンケートの対象は、国道153号(飯田市山本～飯田市伊賀良)の区間です。



アンケートの答え方は、P.4を
ごらんください。

回答用の郵便はがきは、**平成30年4月8日(日)** までに投かんをお願いします。

※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

1. 第1回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要①

■意見聴取に際し、補足説明資料を作成し、アンケート票に同封した。

国道153号 飯田市山本～飯田市伊賀良 の現状

対象区間位置図

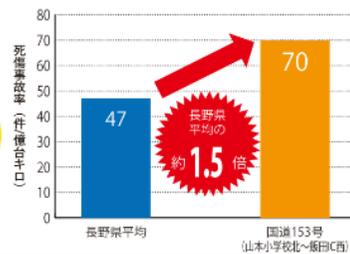


交通円滑



交通安全

- ◆評価対象区間では、死傷事故率が長野県平均の約1.5倍となっています。
- ◆歩道が狭い箇所があり、通学児童など歩行者が巻き込まれる危険性があります。



死傷事故率とは？

年間総交通量×道路延長あたりの死傷事故発生件数の割合
 <例>延長1km、交通量1万台/日の道路での事故発生件数
 ◎事故数 87：3.2件/年
 ◎事故率 42：1.5件/年

地域振興

- ◆リニア中央新幹線長野駅の開業による観光客の増加や産業の活性化が見込まれています。
- ◆県外からの観光客の誘客につなげるため、観光地へのアクセス向上が求められています。



1. 第1回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要②

- 市役所、町村役場や道の駅、高速道路PA、商業施設への道路利用者アンケートの設置、商業施設でのインタビュー調査を実施。
- HPやポスターにて周知を行い回収率向上に努めた。
- 飯田国道事務所のホームページにアンケートバナーを掲載し、インターネットによるWEBアンケートを実施。
- 商工会等へアンケート内容を説明、周知して回収率向上に努めた。

●市役所、町村役場や道の駅、高速道路PA、商業施設における道路利用者アンケートの設置



天龍村役場



座光寺PA

●商業施設でのインタビュー調査



イオンアップルロード店



アピタ飯田店

●ホームページでのアンケートバナーの掲載



1. 第1回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要③

■意見聴取期間は、平成30年3月5日~平成30年4月8日まで。

■下伊那地域の住民、地方公共団体、各種団体、道路利用者を対象にアンケート・ヒアリングを実施。

●意見聴取(1回目)の概要

調査内容	対象	調査票形式	配布数	回収数(回収率)
住民アンケート	・下伊那地域内などの市町村在住の方	郵送	66,600	10,503(16%)
		留置き	—	63
		HP	—	71
沿線地域事業者アンケート	・商工会、観光協会、県トラック協会、県バス協会、県タクシー協会の会員企業	郵送	911	181(20%)
道路利用者アンケート	・下伊那地域内の「道の駅」利用者 ・観光地利用者 ・高速PA利用者 ・商業施設利用者	留置き	—	181
各種団体聞き取り調査	・警察、消防、学校、商工会、観光協会、温泉旅館組合、旅行業協会、道の駅関係者 ・下伊那地域内の市町村 ・愛知県、長野県	ヒアリング	—	59

周知方法：記者発表、ポスター掲示、国HPへのバナー貼り付け

配布方法：①住民アンケートは、全戸配布

②道路利用者アンケートは、観光地や「道の駅」

高速PA、商業施設へアンケート用紙設置

回収方法：①郵便ポスト

②市町村役場や「道の駅」、商業施設に投函ボックスを設置

期 間：約1ヶ月(平成30年3月5日~平成30年4月8日)

●アンケート項目

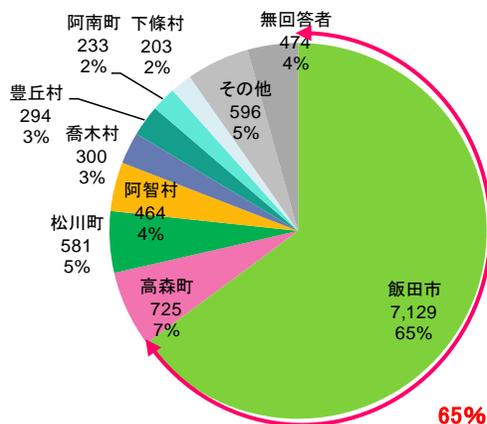
国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)に関するアンケート調査 (回答は返信用のはがきに記入してください)				
問1. 国道153号の利用状況などについて				
問1-1. あなたご自身のことについて教えてください。				
住所	1: 長野県飯田市() 2: 長野県(飯田市以外)()市・区・町・村() 3: ()都・道・府・県()市・区・町・村() ※返信用はがきに記入してください。()には具体的な住所を記入し、番地までは必要ありません。			
性別	1. 男性 2. 女性			
年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70歳以上			
問1-2. 普段自動車を利用されますか?【1つ選択】				
自動車利用	1. ほぼ毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. ほぼ利用しない 5. 利用したことがない			
問1-3. 「問1-2」で1~4と回答された方にお聞きします。 国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)を利用されますか。				
1. 利用する 2. 利用しない(※問2へ)				
問1-4. 「問1-3」で1と回答された方にお聞きします。 国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)を利用する主な目的を教えてください。【1つ選択】				
1. 仕事 2. 通勤・通学 3. 日常的な買い物・通院等 4. 観光・レジャー 5. その他()				
問1-5. 「問1-4」の目的での主な利用時間帯はいつですか?【複数選択可】				
1. 0~3時 2. 3~6時 3. 6~9時 4. 9~12時 5. 12~15時 6. 15~18時 7. 18~21時 8. 21~24時				
問1-6. 「問1-4」の目的で向かう主な目的地はどこですか?				
()都・道・府・県 ()市・区・町・村 ()				
問2. 国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)に関する現在の交通課題について				
問2-1. 国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)には、どのような問題点や解消すべき点があると思いますか? 以下の①~④について、4段階評価してください。				
【4段階評価】4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全く思わない				
問題点や解消すべき点	あなたの評価の程度			
①交通集中による渋滞が発生して困っている	4	3	2	1
②カーブや道路が狭い箇所があり、危険を感じる	4	3	2	1
③歩道が狭い通学路区間を大型車が通り、危険を感じる	4	3	2	1
④リニア長野県駅開業による観光客の増加や産業の活性化に伴う交通需要増加への対応が必要	4	3	2	1
⑤その他(自由回答)				
問3. 国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)に求められる機能・役割について				
問3-1. 国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)には、どのような機能・役割が必要だと思いますか? 以下の①~④について、4段階評価してください。				
【4段階評価】4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全く思わない				
求める機能・役割	あなたの評価の程度			
①渋滞がなく、スムーズに移動できること	4	3	2	1
②カーブや急な勾配、幅の狭い区間がなく、車が安全・快適に走行できること	4	3	2	1
③歩行者が安全に通行できること	4	3	2	1
④観光の促進や産業の活性化に寄与すること	4	3	2	1
⑤その他(自由回答)				
問4. その他				
問4-1. この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見をお書きください。(自由回答)				

1. 第1回意見聴取の結果 3)回答者属性①

- 全回収数は10,999票で、住民10,637票、沿線地域事業者181票、道路利用者181票が回答。
- 回答者の地域区分は、沿線地域である飯田市が65%を占める。

回答者の地域区分

■住所

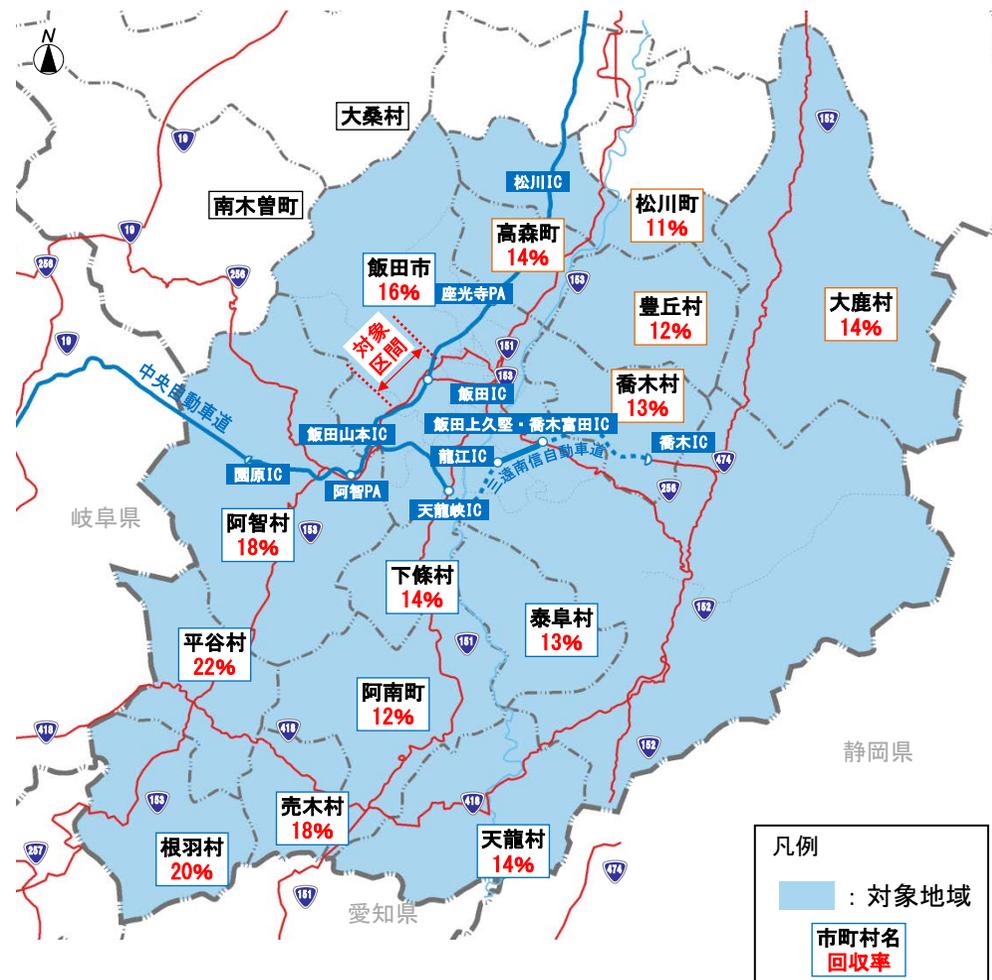


総回答数10,999人

■住民アンケートの配布数と回収率

市町村	配布数	回収数	回収率
飯田市	43,362	6,975	16%
松川町	4,997	559	11%
高森町	4,901	678	14%
阿南町	1,865	230	12%
阿智村	2,518	452	18%
平谷村	230	50	22%
根羽村	455	90	20%
下條村	1,314	184	14%
売木村	301	55	18%
天龍村	703	97	14%
泰阜村	722	96	13%
喬木村	2,326	294	13%
豊丘村	2,381	276	12%
大鹿村	525	73	14%
合計	66,600	10,109	15%
その他	-	95	-
無回答	-	433	-
合計	66,600	10,637	16%

■参考:住民アンケートの配布範囲



凡例

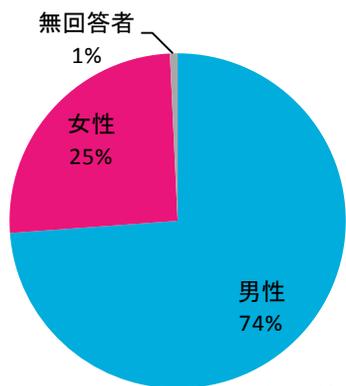
- : 対象地域
- 市町村名
回収率

1. 第1回意見聴取の結果 3)回答者属性②

- 男性が約7割と多い傾向。年齢は60歳以上が約6割を占める。
- 統計データと比較すると、本取得データは性別では男性、年齢では特に60代の割合が多い。
- 航空宇宙産業などの企業が集積している当地域では、業種は製造業が約3割で最も多い。

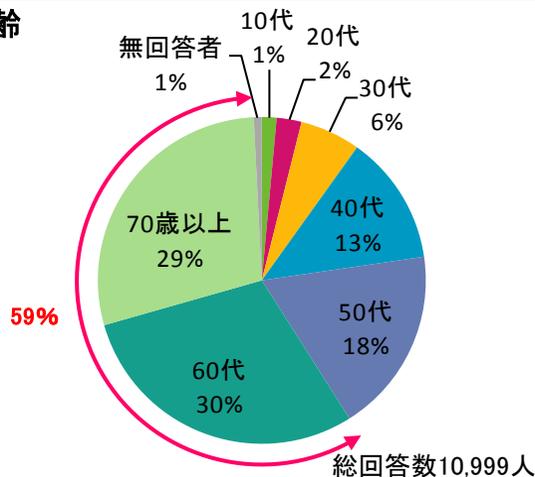
回答者属性

■性別



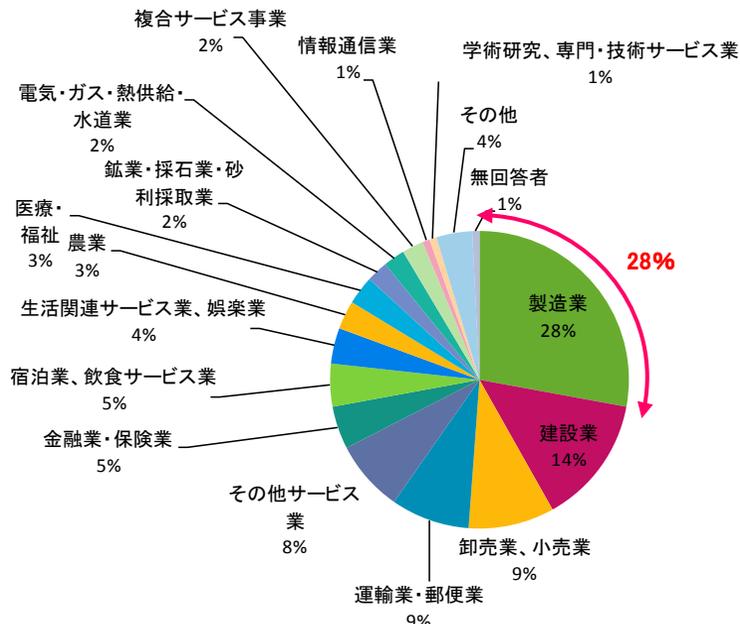
総回答数10,999人

■年齢



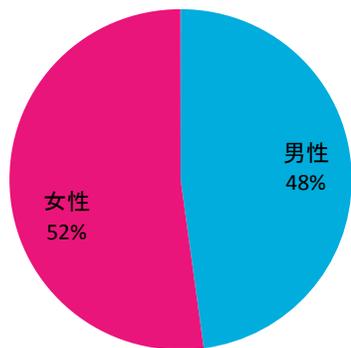
総回答数10,999人

■業種(事業者のみ回答)

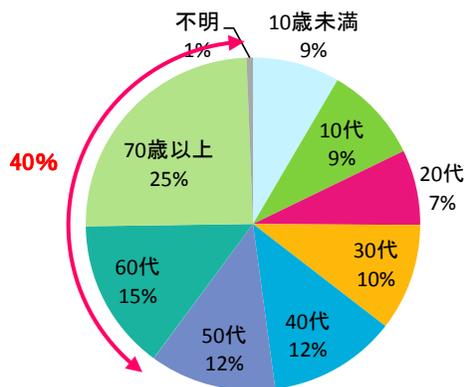


総回答数181社

■参考:性別公表データ(国勢調査)



■参考:年齢公表データ(国勢調査)



※H27国勢調査:下伊那地域で集計
(飯田市・松川町・高森町・阿南町・阿智村・平谷村・根羽村・下條村・売木村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村)

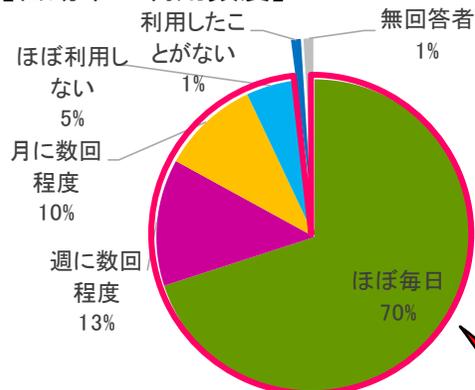
※H27国勢調査:下伊那地域で集計
(飯田市・松川町・高森町・阿南町・阿智村・平谷村・根羽村・下條村・売木村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村)

1. 第1回意見聴取の結果 4)利用状況①

- 回答者のうち自動車を利用している人が98%。そのうち、国道153号を利用している人が64%。
- その利用目的は、「仕事」、「日常的な買い物・通院等」の項目が多く。次いで「観光・レジャー」が2割程度。
- また、その利用時間帯は、「6～9時」・「9～12時」・「12～15時」・「15～18時」がそれぞれ同程度であり、幅広い時間帯で利用されている傾向。

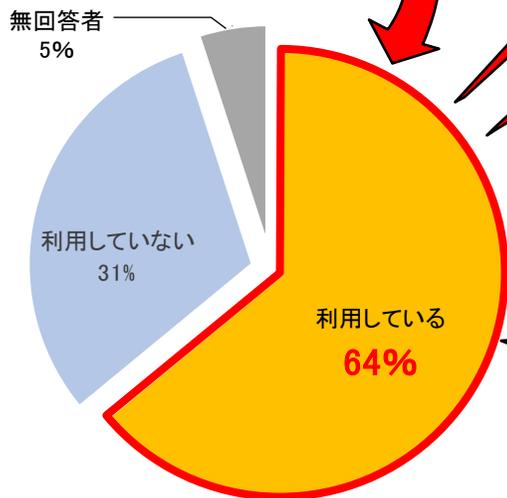
自動車の利用頻度と国道153号利用者の割合

【自動車の利用頻度】



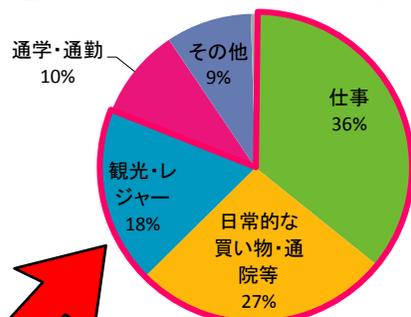
**自動車利用者
約98%**

【自動車利用のうち、国道153号(山本～伊賀良)利用者の割合】



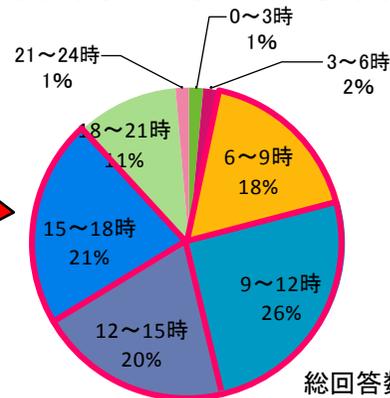
国道153号(山本～伊賀良)の利用目的・利用時間帯・目的地

【国道153号を利用している人の主な利用目的】



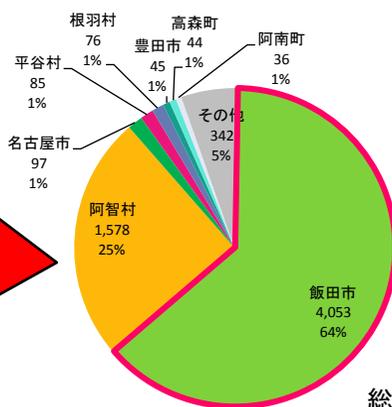
総回答数7,026人

【国道153号を利用している人の 主な利用時間帯】



総回答数7,034人

【国道153号を利用している人の主な目的地】



総回答数6,356人

1. 第1回意見聴取の結果 5)交通の課題①

■回答者の住所別（市町村別）に、課題の認識度を整理している。

■すべての地域で、多くの方が、「①交通渋滞」「②カーブや道路が狭い箇所」「③通学路区間の危険」「④リニア駅開業への対応」が課題として認識している。

■「③通学路区間の危険」は、対象区間から離れていて通学路の状況を把握しにくい、売木村、大鹿村、天龍村の課題認識が低い。

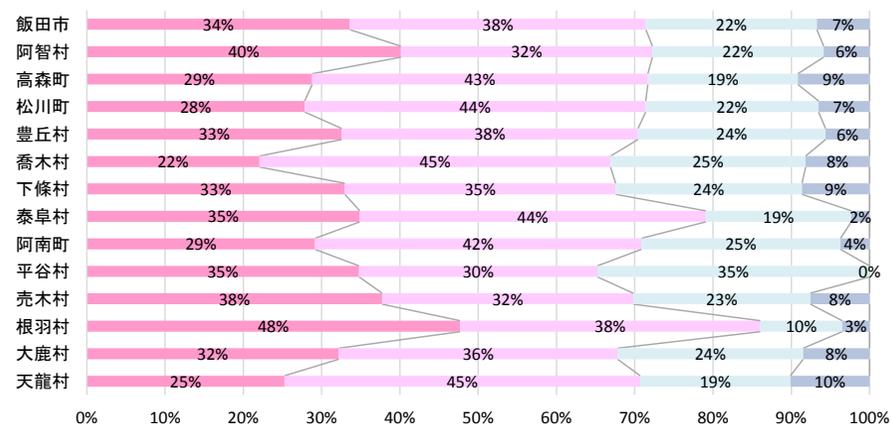
①交通渋滞

N=9,662



②カーブや道路が狭い箇所

N=9,697



③通学路区間の危険

N=9,682



④リニア駅開業への対応

N=9,693



■ 強く思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない

1. 第1回意見聴取の結果 5)交通の課題②

■利用時間帯別の課題の認識度を整理している。

■「6～9時」、「18～21時」の通勤・通学時間帯に利用する人は特に、「①交通渋滞」「②カーブや道路が狭い箇所」「③通学路区間の危険」の課題認識が高くなる傾向がある。

①交通渋滞

N=10,999(複数回答可)



②カーブや道路が狭い箇所

N=10,999(複数回答可)



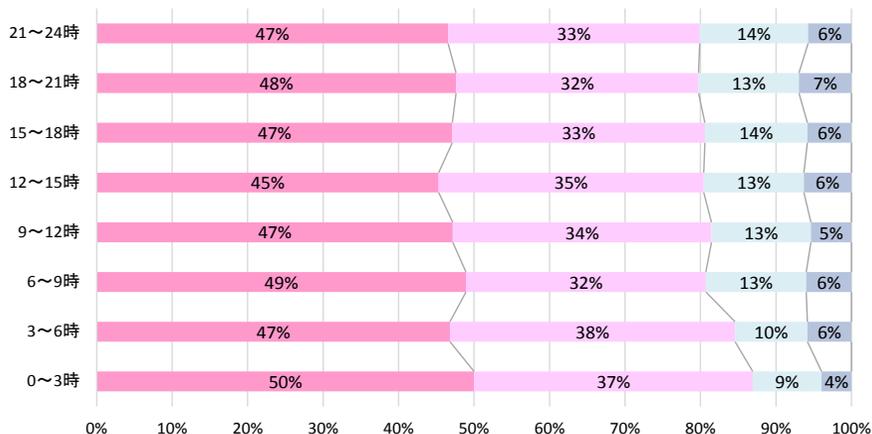
③通学路区間の危険

N=10,999(複数回答可)



④リニア駅開業への対応

N=10,999(複数回答可)



■ 強くそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

1. 第1回意見聴取の結果 6)国道153号に求められる機能・役割①

- 回答者の住所別（市町村別）に、道路に求める機能を整理している。
- すべての地域で、約9割を超える方が、「①渋滞の解消」「②安全・快適な走行」「③歩行者の安全」が道路に求める機能であると考えている。
- 山間部で急峻な地形が多い根羽村では、道路に求める機能の認識が高い傾向にある。
- どの市町村でも「①渋滞の解消」「③歩行者の安全」への関心が特に高い傾向にある。

①渋滞の解消

N=9,841



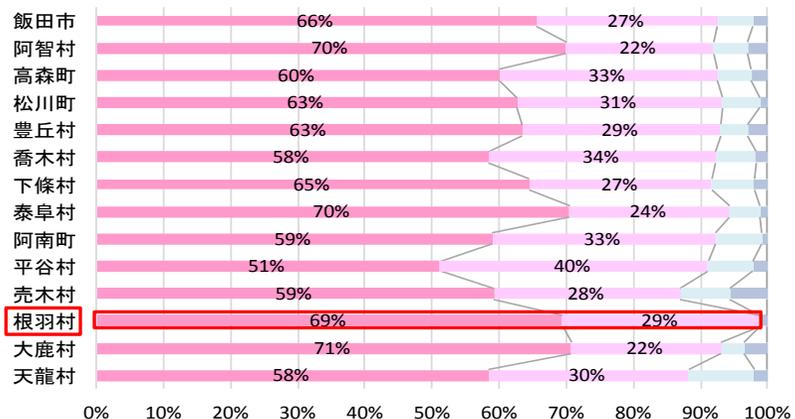
②安全・快適な走行

N=9,790



③歩行者の安全

N=9,842



④観光促進・産業活性化

N=9,714



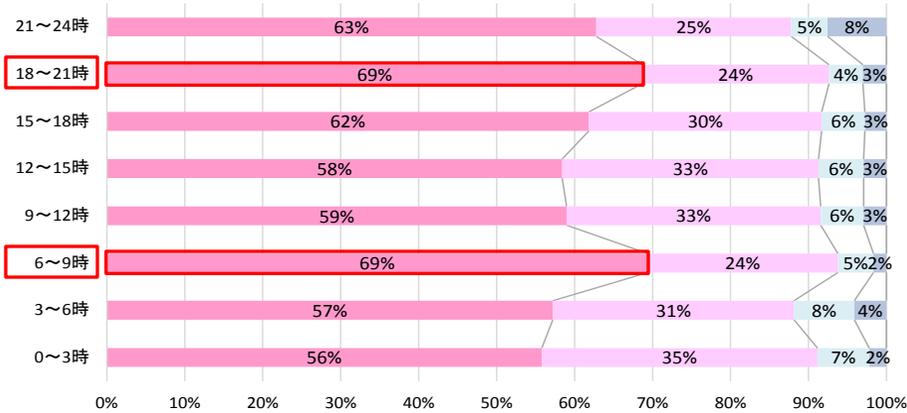
■ 強くそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない

1. 第1回意見聴取の結果 6)国道153号に求められる機能・役割②

- 利用時間帯別の道路に求める機能を整理している。
- すべての時間帯で、約8割を超える方が、すべての項目が道路に求める機能であると考えている。
- 「①渋滞の解消」「②安全・快適な走行」では、「強くそう思う」という回答が、「6～9時」、「18～21時」の時間帯で突出する傾向にある。通勤通学時間帯は交通量が多いため、道路について機能・役割を求める方の割合が高くなる傾向がある。

①渋滞の解消

N=10,999(複数回答可)



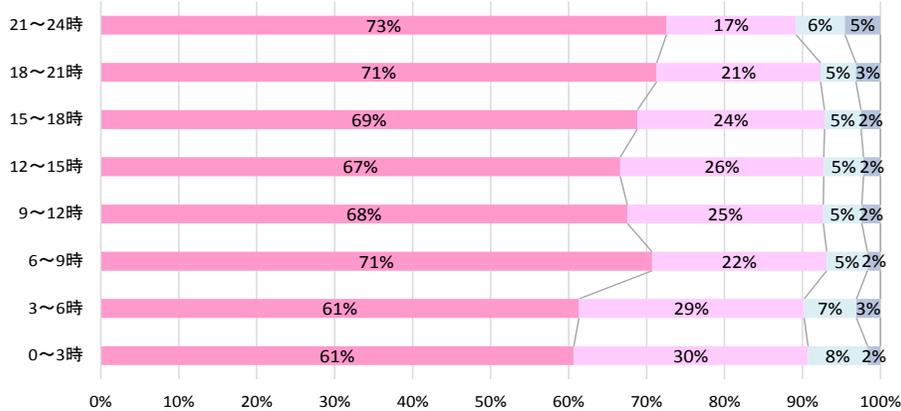
②安全・快適な走行

N=10,999(複数回答可)



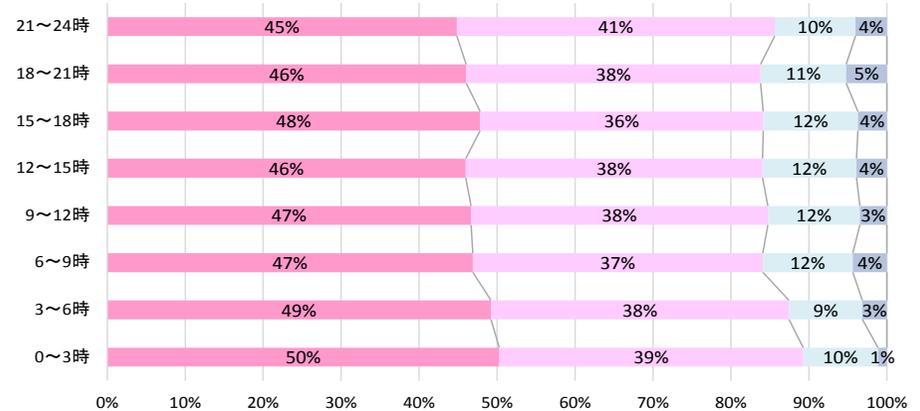
③歩行者の安全

N=10,999(複数回答可)



④観光促進・産業活性化

N=10,999(複数回答可)



■ 強くそう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない